

発行責任者：富士根南地区社会福祉協議会



シンボルマーク

根南福祉だより

40号

(広報部)

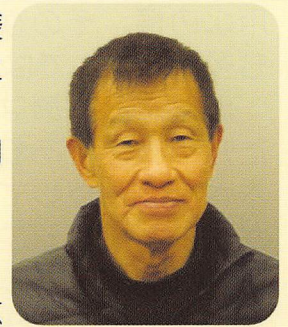
令和元年度を振り返って

会長 佐野 英夫

富士根南地区(世帯数10,200戸、人口24,300人、高齢化率24.9%)の皆様には日頃より地区社会福祉協議会にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

令和元年度の事業も予定どおり終了することが出来ましたので、主な内容についてご報告致します。

1. 推進員研修会(8/6)・・・新任の推進委員を含め72名が参加し、推進委員の役割などについて研修が行われました。グループ討議では「各地区での福祉課題」をテーマに協議を重ねた結果、高齢化率の高まり、福祉対応環境等が地域ごと異なるなどの実情が見えてきました。今後、各区との話し合いを重ねながら課題解決に向け取り組んでいければと思います。
2. 三世代交流ふれあいまつり(10/26)・・・子供から高齢者までの世代が南中体育館に集い、南小児童の花笠踊り、南中生徒の箏・吹奏楽の演奏、幼児の絵の掲示、軽スポーツ、茶道等の多彩な内容で地域の住民交流、異世代間交流を図ることができました。
3. 福祉講演会(11/23)・・・今回で10回目となる講演会は柚野興徳寺の松永泰然住職を講師に迎え、「それぞれの役目～泰然自若な松永住職の体験に基づく人生を楽しく過ごす心構えの法話～」を演題に講演していただき、127名の方が聴講しました。
住職自身の人生観、母親の介護、柚野山の植林活動等現実を捉えた内容は多くの聴衆を魅了しました。
4. 地域を知ろう(11/30)・・・今年度は小泉地区の桜田用水記念碑、代立寺などを散策しました。いつも通っているところにこんな謂われがあったのかと、地域を再認識すると共に健康増進、住民交流を図ることができました。



ネットワーク活動の現況

企画委員長 木ノ内 高嘉

根南地区16区の福祉委員を中心に全区において小地域福祉ネットワーク活動が展開されています。一人暮らしの高齢者、高齢者世帯の増加する中、住み慣れた地域で暮らし続けていただくには地域は何をすれば良いのか、また何をすべきなのかの自問から芽生えたネットワーク活動です。

今年度のネットワーク活動における根南地区の見守り対象者は、313人(男101人、女212人)でその内訳は一人暮らしの高齢者116人、高齢者世帯対象者88人、日常気がかりな人31人などとなっています。この方々を見守り訪問する福祉協力員は479人となりました。このほか福祉委員の方から個人情報保護の観点から見守り対象者の把握が困難。福祉協力員の高齢による辞退があるなか新規のなり手がいない。見守り活動は不要ではないかと区内からの意見もあるがどうしたらよいか等この活動を進めるうえでの困難な課題が提起されました。

昔ながらの向こう三軒両隣の関係が核家族化や孤立化の進行により崩れている現状では見守り訪問が地域との関係づけに大きな役割を果たしています。地域の皆様にはネットワーク活動の目標である「高齢になっても安心して暮らせる地域づくり」にご協力頂きますようお願い申し上げます。



「地域を知ろう」を実施して

サポート部長 望月 好江

令和元年11月30日(土)、「地域を知ろう」が小泉地区をコースに実施されました。

参加者は子供を含め72名で、根南公民館を出発し虚空蔵社古墳、桜田用水樋、用水記念碑、代立寺、向原八幡宮を巡りました。

南公民館脇の石碑、向田公園から流れる用水の樋、その存在に気がつかなかった方も多かったのではないのでしょうか。

虚空蔵社古墳はこの地で偉業を成し遂げた方のお墓であり、堂ヶ谷戸製茶工場の鈴木さんが管理して下さっています。私たちがここを訪れることを知ると、数日かけて草刈りや掃除をし、迎える準備をしてくださいました。ありがとうございました。

桜田用水は弓沢川から取水し、中尾～荻間

に至る農耕地への灌漑用水です。尾無沢を渡る手前に桜田用水の記念碑があり、先人の偉業を知ることができました。

代立寺では全員が本堂に上がりお寺の縁起や、多宝塔建立の経緯、心を穏やかにする呼吸法など普段は聞くことのできない貴重な法話に皆さん真剣な表情で聞いていました。

向原八幡宮では同じ社殿に八幡宮と西小泉天王社(疫病厄病除けの神様)が合わせて祭られていることを知りました。

開催にあたり、小泉5区区長を始め関係各所にご協力頂き、無事に実施できましたこと心より感謝申し上げます。

普段何気なく通過しているところの話が聞けて、とても新鮮でした。代立寺の住職さんの話はとても良かったです。初めての参加でしたが有意義な時間を過ごさせていただきました。(60代女性)

参加者の声

この地域に住んで47年になるが歩いたことはなかった。地域の歴史や旧跡などを知ることができてとても良かった。又、歩く目線と車での目線は、まったく違い、改めていろいろなことを知ることができました。

(70代男性)



代立寺多宝塔前で記念撮影



虚空蔵社古墳の説明



桜田用水記念碑



公民館脇の石碑



代立寺小池住職の法話



向原八幡宮社殿

むかしの遊びを通して異世代間の交流が深まる

南小むかしの遊び教室

サポート部長 望月 好江

令和元年11月29日(金)、地区社協支援事業の南小の「むかしの遊び教室」の支援を実施しました。南小1年生181人と地域の支援者69人が昔の遊びを通して異世代間の交流を深めることができました。

支援者は羽根つき、竹馬、竹ぼっくり、めんこけん玉、こま回し、あやとり、紙飛行機など15種類の遊びを選択し、初心者でも名人の名札を掲げて指導してきました。中には名人顔負けで上手に遊ぶ子どももいましたが、できるまで挑戦しようとする強い意欲をもった児童が多く、私たちもその挑戦を根気強く見守りました。

児童と支援者が生き生きとした表情で昔の遊びに取り組む様子は、とても微笑ましくこの支援事業の意義を強く感じる場面でした。

初めて参加された区長さんからは最初是不安でしたが参加してよかった！感動しました！とコメント頂きました。

大人の丁寧な働きかけが子どもの未来を形づくる。実際にふれあうことでその大切さを実感いたしました。

支援者の皆さまには、お忙しい中ご協力頂きありがとうございました。

児童からお礼のことば

かみひこうき名人のみなさんへ



わたしは、かみひこうきのよば
しかたをおしえてくれてあ
りがとうございました。
たのしかったのでまたやりた
いでおみずからいより

たけとんぼの名人のみなさんへ



わたしは、さいしょむか
うしうたけとんぼのしくで
きたのでまたやりたいて
あそぶたのしかったので
1ねん4くみあらいゆめ より

ビーダ名人のみなさんへ



きょうはありがとうございました
たさいは、うちかたか
わからなかつたけど名人
がおいしくたからでるおに
ななよりありがとうこばいハッピ より



竹馬



ゴム飛行機



竹ぼっくり

小地域福祉 ネットワーク活動

小泉6区見守り活動見学会

ネットワーク委員会の皆さん12名が、1月25日小泉6区の見守り活動を見学しました。

見守り隊活動は、平成22年度に発足し、80歳以上で希望される方を対象に、各家庭を訪問しています。見守り隊員は、区三役、福祉委員、民生児童委員、福祉協力委員で構成し、隔月の第4土曜日に活動しています。

当日、区民館に見守り隊が集合し、前回の見守りの様子を情報交換した後、6グループに分かれて訪問に出掛けました。見守り隊に同行したネットワーク委員からは、次のような声が聞かれました。

- ・見守る人と見守られる人の信頼関係が築かれている。
- ・見守り隊の活動が地区の人たちに受け入れられている。
- ・見守られる方がハリのある生活をされていて、話をするのが楽しかった。



静岡市服織地区社協へ視察研修



11月15日(金)静岡市服織地区社会福祉推進協議会へ推進委員23名と市社協から1名の24名で視察研修に行ってきました。

地域の民生児童委員が高齢者の現状を知り、町内で助け合いに取り組みたいという思いから、平成21年に高齢者の生活支援を行う「たすけあいの会」を立ち上げました。

ここでは、自治会ごとに「たすけあいの会」を組織し、12の自治会に15のたすけあいの会ができ、住民のちょっとした困りごとにボランティアが対応しています。内容は、日頃からの見守り・声掛け、ゴミ出し、草木の手入れなどの生活支援、入院等緊急時の家事に関すること等、自分でできないことを住民が支援しています。

私達はこの研修で、今の高齢化社会の課題解決に、このような生活支援の必要性を強く感じました。今後、富士根南地区でもこうした生活支援体制ができないか議論を深めていきたいと思います。

参加した皆さんから次のような感想が寄せられました。

- ・具体的な助け合いの活動を聞くことができてとても良かった。
- ・初期の組織の立ち上げ方法やアンケートを全戸から取って、必要性をアンケート結果で決めている所が良いと思う。
- ・富士根地域でもこのような体制ができて、高齢になっても独居になっても安心して暮らせるような地域に早くなれるよう望みます。



服織地区社協(平成30年9月)

自治会数	12自治会
人口	18,767人
世帯数	7,921世帯
高齢化率	28.8%
地区社協設立	平成9年3月

事業部へのお誘い

根南地区社協では、三世代交流部、研修部、サポート部、広報部の企画に携わって頂ける方を求めています。各部が実施するイベントを楽しみながら参画してみませんか。

連絡先 木ノ内 27-7388

地区社協ホームページ

URL <http://fmsyakyu.com>

